

# 組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	企画課
職	課長
氏名	松本 博樹

<b>組織の使命・役割</b>	<b>何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か</b>
新たな社会経済情勢の変化に対応しながら、県政の総合的な企画及び調整を行う。 国立工芸館の移転整備を推進する。 「石川県長期構想」及び「第2期いしかわ創生総合戦略」を着実に推進する。 高等教育機関(大学、短大、高専)の集積を活かした学都石川の魅力を発信する。 エネルギー対策及び適正な土地利用を推進する。	
↓	

<b>組織の目標</b>	<b>使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か</b>
<b>(定性的目標)</b>	<b>何をどのような状態にしたいか</b>
① 国立工芸館について、7月の開館を目指し、移転整備の推進を図る。 ② 「石川県長期構想」及び「第2期いしかわ創生総合戦略」について、部局間の総合調整を図りながら、達成目標の令和7年度及び令和8年度までの着実な実現を図る。 ③ 高等教育機関の集積を活かした学都石川の魅力発信を図る。 ④ 電源交付金事業による電源立地地域の地域振興支援及び再生可能エネルギーの導入促進を行う。 ⑤ 国土利用計画法による土地利用基本計画に基づき、土地利用規制、遊休土地に関する措置などを実施し、県土の適正かつ合理的な土地利用を推進する。	

<b>具体的な指標、目標値を設定する</b>					
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
③人口千人当たり大学・短大及び高等専門学校の学生数の維持	30.3	R1	30.3	R2	18歳人口の減少等を勘案して設定。

↓	
<b>令和2年度に重点的に取り組むべき課題</b>	<b>左記の具体的な内容を記載する</b>
①国立工芸館の移転整備	7月の開館を目指し、移転整備を進めるとともに、開館に向けた気運醸成を図る。また、国立工芸館と連携し、開館を契機とした本県工芸の裾野拡大を図る。
②「石川県長期構想」及び「第2期いしかわ創生総合戦略」の着実な推進に向けた進行管理	「石川県長期構想」及び「第2期いしかわ創生総合戦略」について、部局間の総合調整を図りながら、目標達成に向け、施策の推進を図る。
③県内高等教育機関の集積を活かした学都石川の魅力発信	大学と地域、大学間の一層の連携強化を図るため、「大学コンソーシアム石川」と連携した事業を推進するとともに、高等教育機関と連携する国連大学高等教育研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニットを支援することにより、県内高等教育機関全体の魅力を高める。
④電源交付金事業による地域振興及び再生可能エネルギーの導入促進	志賀町及び周辺市町が実施する地域活性化事業等に対する助成を行うとともに、再生可能エネルギーの導入を促進する。
⑤適正かつ円滑な土地取引の推進	地価調査事業の実施により、一般の土地取引価格の指標となる基準地価格を公表し、適正かつ円滑な土地取引の推進を図る。